

CFPデータ連携・算定 支援サービス

サプライチェーンにおける一次データ
連携を、実務として回る粒度で立ち上
げる支援サービス



一般財団法人
日本繊維製品品質技術センター
Japan Textile Products Quality and Technology Center





1.CFP対応の課題と本サービスの役割

CFP対応で止まりやすいのは、算定そのものよりも一次データ連携の実務です。

CFP対応における課題

- 一次データの提供要請を受けても、何をどの粒度で出せばよいか分からない
- 一次データを集めたいが、前提条件がそろわず回収が進まない
- 数値は出せても、顧客や社内に説明できる形に整理できない
- 製品ごとの詳細追跡を求めすぎて、データ連携自体が止まってしまう

本サービスの役割

一次データ連携を前に進めることと、説明可能なCFP整理につなげることを一体で支援します。

必要データ整理 何を集めるか・どの粒度で依頼するかを整理

共通様式整備 共通データ整理シートでやり取りを整流化

データ確認 対象期間・単位・前提条件を確認

レポート化 可視化から説明可能な形への整理まで支援

CFP算定だけでなく、一次データ連携の詰まりを解消するサービスを提供します



2. QTECのサービス内容

QTECでは、一次データ連携を前に進めることと、説明可能なCFP整理につなげることを一体で支援します。

必要データの整理

1

どのデータを集めればよいか、データ提供をどの程度の粒度で依頼すべきかを整理します

共通様式の整備

2

データ整理シートなどを用いて、要請側・提供側の間でやり取りしやすい形を整えます。

提出データの確認

3

対象期間、単位、前提条件などを確認し、データの整合を整理します。

CFPレポート

4

CFP可視化や社内共有、取引先説明につながる形で取りまとめを支援します

本サービスは、データ要請側・データ提供側の双方における実務負荷を整理し、CFP対応を前に進めるための支援サービスです。



3. サービス活用シーン

基本サービスは、CFP対応を進めたいが、何から着手すべきか分からない、または一次データ連携がスムーズに回っていない場面での活用を想定しています。

1 データ提供要請を受けたが、対応できていない

- 何を、どの粒度で出せばよいか分からない
- 製品単位の詳細データまでは難易度が高く整理できない
- 取得し易い、工場全体データや工程群のデータで対応したい

データ提供側

2 一次データを集めたいが、回収が進まない

- データ提供を要請したが、データ提供側が対応できないと断られた
- 対象範囲や前提条件をどのようにして整理すれば良いか分からない
- データ提供側が対応可能な粒度のデータでCFP連携を進めたい

データ要請側

3 数値はあるが、説明できる形になっていない

- 社内共有や初期説明に使える形へ整理したい
- 算定条件や使用データの整理が不足している
- 継続運用や次年度更新につながる形にしたい

双方で使える

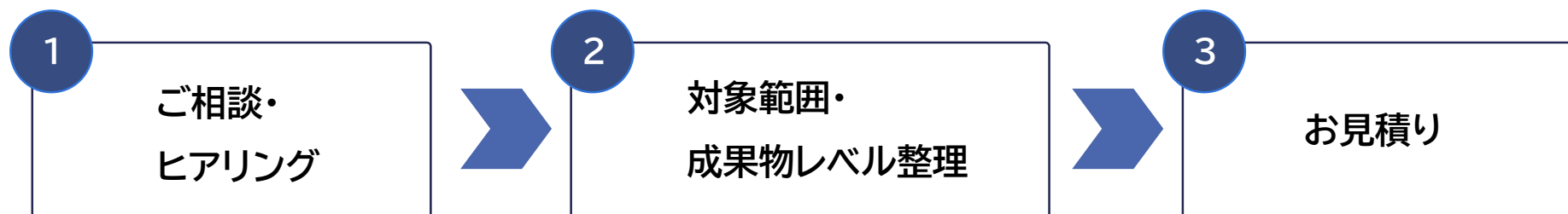
データ提供側にも、データ要請側にも使えるサービスです



4.本サービスの進め方・導入イメージ

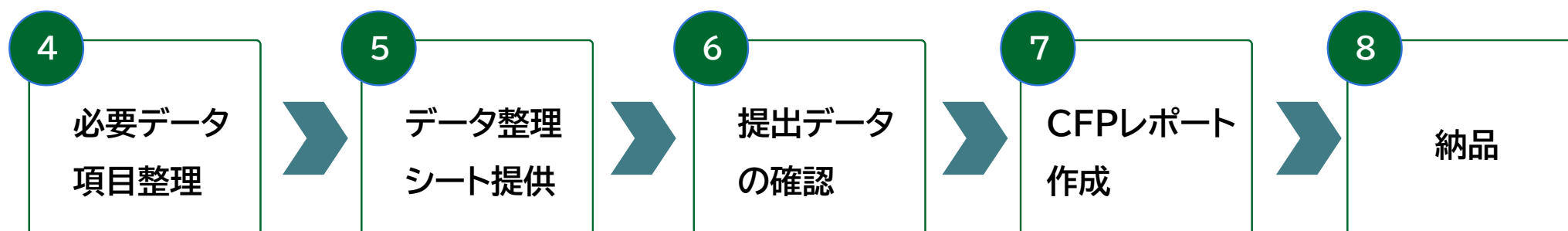
本サービスは、相談から納品まで、以下の流れで進めます。

導入時の整理



この段階で、CFP可視化レポート/CFP算定レポートのどちらが適切かを整理します

基本サービスの実施内容





CFP対応では、算定そのものの以前に、必要データの整理 / 依頼条件の統一 / 提供データの確認といった一次データ連携で止まりやすい場面が多くあります。

本サービスは、データ要請側・データ提供側の間にある実務負荷を整理し、CFP対応を進めるための土台づくりを支援します。

CFP対応の第一歩を、実務として進めやすく。



お問い合わせ先

<お問合せ先>

一般財団法人 日本繊維製品品質技術センター 東日本事業所

技術支援チーム 竹内大祐

(TEL) 03-5439-8022 (携帯: 080-8743-6271)

(Mail) d-takeuchi@qtec.or.jp